

# Slack ログ収集アプリ要件定義書

---

作成日 2022年11月30日

- Slack ログ収集アプリ要件定義書
  - 1. 概要
  - 2. 目的
  - 3. 機能要件
    - 3.1. ログの収集
    - 3.2. ファイル出力
    - 3.3. GUI レイアウト
  - 4. 非機能要件
    - 4.1. 実行環境
    - 4.2. 配布形式
    - 4.3. データベース
    - 4.4. トークン

## 1. 概要

任意の slack チャンネルの過去ログを収集するアプリに関する仕様を規定する。

## 2. 目的

slack のフリープランは 2022 年 9 月から、メッセージが過去 90 日分しか閲覧できなくなるよう改悪された。そのためメッセージが消える前に過去ログを収集し蓄積できるようなアプリを開発する。

## 3. 機能要件

### 3.1. ログの収集

任意のパブリックチャンネルまたはプライベートチャンネルにあるログを slackAPI を使って取得し、ユーザーのローカル環境にあるデータベースに保持する。収集対象のデータは下記表の通り。一度に取得できるメッセージ数は 1000 に制限する。

項目名	説明	データ型
id	メッセージの ID	STR
datetime	日付と時刻	DATE
user	ユーザーの ID	STR
text	本文	STR
reaction	ついたりアクションの数	INT

メッセージ取得の例

```

{
  "client_msg_id": "30BD3B0B-8ABF-4DCE-AC96-DE6673704365",
  "type": "message",
  "text": "■報告年月日◆特記事項\n最近読んだ記事紹介します。
  \n<https://zenn.dev/linklinklink|https://zenn.dev/linklinklink>\n
    • 面白かったです。",
  "user": "U039MLFDT1Q",
  "ts": "1673002931.698639",
  "blocks": [
    {
      "type": "rich_text",
      "block_id": "=/1",
      "elements": [
        {
          "type": "rich_text_section",
          "elements": [
            {
              "type": "text",
              "text": "■報告年月日◆特記事項\n最近読んだ記事紹介します。 \n"
            },
            {
              "type": "link",
              "url": "https://zenn.dev/linklinklink",
              "text": "https://zenn.dev/linklinklink"
            },
            { "type": "text", "text": "\n" }
          ]
        },
        {
          "type": "rich_text_list",
          "elements": [
            {
              "type": "rich_text_section",
              "elements": [
                {
                  "type": "text",
                  "text": "面白かったです。"
                }
              ]
            }
          ],
          "style": "bullet",
          "indent": 0,
          "offset": 0,
          "border": 0
        }
      ]
    },
    {
      "team": "TUPTHP6K1",

```

```

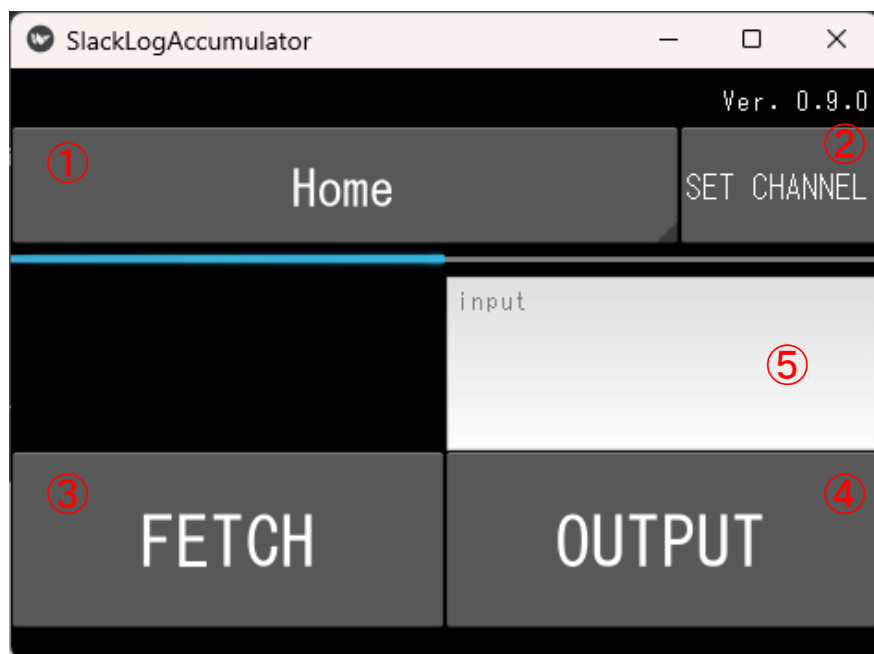
"edited": { "user": "U039MLFDT1Q", "ts": "1673003017.000000" },
"attachments": [
  {
    "from_url": "https://zenn.dev/linklinklink",
    "image_url": "https://res.cloudinary.com/zenn/image/upload/z4sxah.png",
    "image_width": 476,
    "image_height": 250,
    "image_bytes": 31708,
    "service_icon": "https://zenn.dev/images/icon.png",
    "id": 1,
    "original_url": "https://zenn.dev/linklinklink",
    "fallback": "Zenn: リンク記事タイトル",
    "title": "リンク記事タイトル",
    "title_link": "https://zenn.dev/linklinklink",
    "service_name": "Zenn"
  },
],
"reactions": [
  {
    "name": "man-bowing",
    "users": ["UUBUGHUMP", "UUMJ7PE2G"],
    "count": 2
  },
  {
    "name": "よろしく_お願いします",
    "users": ["U013J6VF66B"],
    "count": 1
  }
]
},

```

## 3.2. ファイル出力

ユーザーのローカル環境にあるログ収集データベースにあるログデータを csv 形式で出力する。

### 3.3. GUI レイアウト



- ① チャンネル選択コンボボックス  
対象のチャンネルを選択する。
- ② 新規チャンネル登録ボタン  
ログを取得したいチャンネルを設定するダイアログを開くボタン。
- ③ メッセージ読み込み ボタン  
押下すると選択されたチャンネルのログを読み込み、データベースに格納する。
- ④ ファイル出力ボタン  
押下するとユーザーローカルにあるデータベースファイルに格納されてある中で、選択されたチャンネルのログを csv 形式で出力する。

## 4. 非機能要件

### 4.1. 実行環境

OS	windows を想定
ネットワーク	繋がっていること
PC スペック	一般的であること

## **4.2. 配布形式**

exe 形式で配布し、スタンドアローン化する。またデータベースファイル(.db)は初回起動時に exe ファイルと同階層に作成される。

## **4.3. データベース**

データベースは SQLite を使用する。このデータベースファイルを紛失すると復旧不可能になる。

## **4.4. トークン**

トークンは AES 暗号化され実行ファイル内に保持されている。初回起動時に解除キーを入力しアクティベートする。トークンファイルを書き換えれば、他の slack ワークスペースでも使えるようになる。